

令和元年度  
小牧市社会福祉協議会  
ボランティアセンター 事業報告書

## 基本姿勢

ボランティアセンターは唯一のボランティア専門機関として、ボランティアにとって最善の利益が確保できるよう、皆さんとの信頼関係づくり、ボランティア活動のより良い環境づくり、社会活動・福祉活動に貢献していきたいと考えています。

### 1. 地域のボランティア力の強化・育成・ネットワーク拡充

15 事業

- (1) ボランティアセンター運営委員会
- (2) ボランティア連絡会
- (3) ボランティアリーダースクール
- (4) ボランティア勉強会
- (5) 地区ボランティア連絡会
- (6) ボランティア活動保険の加入促進
- (7) ボランティア活動助成金の交付
- (8) ボランティアルームの常時開設
- (9) 婦人・ジュニア・シルバー奉仕団の活動推進
- (10) ジュニア奉仕団卒団生の活動
- (11) 災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練
- (12) 市総合防災訓練参加
- (13) 東日本大震災県外避難者支援
- (14) 東尾張ブロックボランティア集会
- (15) 他市町村ボランティア連絡協議会との交流会

### 2. ボランティアの心を育て実践を促す活動

6 事業

- (1) ボランティア養成講座の開催
- (2) 養成講座の開講支援
- (3) ボランティア相談、情報提供、各種機材の貸し出し等
- (4) 土曜窓口の開設
- (5) ボランティア情報コーナー設置
- (6) ボランティア登録

### 3. 福祉教育活動の推進

3 事業

- (1) 福祉実践教室の開催
- (2) 「総合的な学習の時間」への協力
- (3) 中学生及び高校生福祉体験学習事業

### 4. 「福祉の心」「ボランティアの心」の普及・啓発活動

5 事業

- (1) 福祉展の開催
- (2) ボランティア活動啓発用パネルを常時展示・貸出
- (3) ボランティアグループ一覧表の作成配布
- (4) インターネットでのボランティア情報の提供
- (5) 啓発活動支援

### 5. 人にやさしいまちづくりの実現

1 事業

- (1) 障がい者（児）スポーツレクリエーションのつどい

### 6. その他登録ボランティアに関する事業

計 30 事業

# 1. 地域のボランティア力の強化・育成・ネットワーク拡充

## (1) ボランティアセンター運営委員会(年4回)

【目的】 ボランティアセンターのセンターの事業推進、機能充実、体制整備、ボランティア活動の円滑化を図るための業務についての協議を行う。

日 時	内 容	出席数
第1回 4月10日(水) 13時30分～	委嘱状交付、自己紹介、委員長・副委員長選出、平成31年度社会福祉協議会事業計画について、ボランティアセンター事業について、社会福祉大会顕彰候補者説明、ボランティア保険について	13名
第2回 9月11日(水) 13時30分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市社会福祉大会顕彰候補者の推薦について</li> <li>・中高生福祉体験学習文集編成について、</li> <li>・事業報告               <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティアリーダースクール</li> <li>②東尾張ブロックボランティア集会(東郷町)</li> <li>③ボランティア勉強会</li> <li>④愛知県ボランティア功労者表彰</li> <li>⑤登録グループ数、保険加入者数、新規登録グループ</li> <li>⑥福祉実践教室</li> </ul> </li> <li>後期の予定               <ul style="list-style-type: none"> <li>①地区ボランティアのつどい</li> <li>②福祉展 小牧市公民館 10.19(土)20(日)</li> <li>③障がい者児スポレク パークアリーナ小牧</li> <li>④ボランティア養成講座</li> <li>⑤災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練</li> </ul> </li> </ul>	13名
第3回 10月2日(水) 13時30分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生福祉体験学習感想文発表者について 本庄授産所 武川穂華 1年 味岡中学校 オーネスト桃花林 南道愛七 3年 篠岡中学校 愛厚ホーム小牧苑 山田菜々穂 3年 光ヶ丘中学校</li> <li>・事業の報告、予定               <ul style="list-style-type: none"> <li>①福祉展の進捗</li> <li>②地区ボランティアのつどい</li> <li>③ココボラの活動状況</li> <li>④避難者交流会、個別訪問</li> <li>⑤小牧市総合防災訓練</li> <li>⑥新規登録グループ 1件</li> </ul> </li> <li>・災害ボランティア支援センター 設置運営マニュアルの改訂について</li> </ul>	13名
第4回 令和2年 3月4日(水) 13時30分～	令和元年度事業実施状況について報告、令和2年度事業計画・年間予定、今後のボランティアセンター事業について	13名

## (2) ボランティア連絡会(グループ代表者会)(年2回)

【目的】 ボランティア精神に基づいて、心豊かな住みよい地域社会の創造と会員相互の連絡と交流を図ることを目的とする。

### ① 第1回ボランティア連絡会

【日時】 4月17日(水)13時30分～15時

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

【出席数】 52名

【内容】 ・ボランティア連絡会正副会長選出  
会長 加藤 隆明 氏 副会長 尾本 玲子氏  
(1) 社会福祉協議会事業及び協力会費のお願いについて  
(2) ボランティアセンターからのお知らせについて  
(3) 各種募集案内について  
(4) 資料集について  
議題『わたしのボランティアエピソード』

### ② 第2回ボランティア連絡会

【日時】 令和2年2月19日(水)13時30分～15時5分

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

【出席数】 68人

【内容】 あいさつ ボランティア連絡会 会長

#### 第1部

- (1) 今年度の活動報告(7グループ)
- (2) ボランティアセンターの事業報告・計画(案)について
- (3) ボランティア登録、ボランティア活動保険加入について
  - 次年度に向けた手続き
    - ・ボランティアグループ登録内容の確認
    - ・令和2年度ボランティア保険加入
  - 今年度の手続き
    - ・ボランティアグループ活動状況報告書の提出

#### (4) その他

閉会 会長 副会長あいさつ

#### 第2部 ボランティア活動助成事業について

- (1) 令和元年度の実績報告
- (2) 令和2年度の申請

## (3) ボランティアリーダースクール

【目的】 市内のボランティア活動の活性化を図るため、指導力のあるリーダーの育成・養成をめざす。

【開催日時】 6月6日(木)13時30分～15時30分

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

【参加対象】 登録ボランティア会員 代表、役員

【参加者数】 48人

【内容】 講師 有限会社フロム・サーティー 池崎 晴美 氏  
「人生を豊かにする ハッピートーク」

#### (4) ボランティア勉強会

【目的】 より多くのボランティアに「ボランティア活動の意義や必要性」についての理解を深めていただくとともに、活動を続けることのモチベーションを高め、「ボランティア活動の活性化」を目的として開催する。

【参加対象】 登録ボランティア 全員

##### 第19弾【健康関連】「言葉の力で心のエクササイズ～ペップトークで笑顔の毎日～」

【開催日時】 8月27日（火）13時30分～15時

【参加者数】 84名

【内容】 講師：日本ペップトーク普及協会 三森 啓文 氏

##### 第20弾【健康関連】「わたしのコミュニケーションの再点検」

【開催日時】 11月21日（木）13時30分～15時

【参加者数】 48名

【内容】 共に活動する仲間と信頼し合える関係を築くために

- ・コミュニケーションにおける自分や他者の違いに気づく
- ・言いたいことが相手に伝わるコミュニケーションを学ぶ。

講師：日本体験学習研究所 岡田(おかだ) 衣津子(いつこ) 氏  
(南山大学大学院人間文化研究科教育ファシリテーション専攻修了)

平成25年の事業開始からこれまで、延べ1,000名を超える参加がある。

#### (5) 地区ボランティア連絡会

【目的】 本会は、ボランティア精神に基づいて、地区に在住する会員相互の交流と、地区の福祉の増進及び啓発をはかることを目的とします。

【人数】 地区ボランティア連絡員 271名

地区	南部	中部	西部	味岡	篠岡	北里	市外
所属人数	513	203	316	663	739	280	275
G数	41	36	41	63	53	37	

・実人数、延べ人数、所属人数表の自動生成計算表を作成し活用。

##### ①第1回地区ボランティア連絡会 6地区合同役員会

【日時】 令和元年5月22日(水)13時30分～15時5分

【場所】 ふれあいセンター 視聴覚室

【出席数】 18名

【内容】 今年度の活動計画について（各地区ごと）

- 助成金申請書・計画書提出について
- 土曜日窓口の開設について
- 地区割りの変更状況確認

次年度から地区割りを変更するが、実情に合わせた調整を行う。

- 活動状況報告書より

各地区において、課題となっていることや成功事例などを紹介

- ・役員が増えない。交代が難しい。
- ・地域活動への参加者を増やすためには何が必要か思案している。
- ・ジュニア奉仕団へ案内する際に、保護者に対して協力者募集の一文を入れたところ2名手が上がった。様々な接点をうまく活用して広く声かけをするとよい。
- ・役員をやらなくていい等、ハードルを下げて声かけをしてはどうか。
- ・役員全員が仲良く楽しそうに取り組んでいる姿を見せ、心理的な負担を取り除いてはどうか。
- ・地域の防災訓練で周りに声かけをして炊き出しをかってでた。ほかの活動の際は逆に協力をもらっている。
- ・地区ボラは立ち上げ当初、自慢大会だった。2年後に地区ごとのつどいが始まった経緯がある。協力してくれた方は、皆さんやってよかったと言ってくれている。新しい連絡員やグループの方に細かく話を伝えて、取り込んでいくことが大切ではないか。

## ②第2回地区ボランティア連絡会 6地区合同役員会

【日 時】 令和2年3月3日(火)13時30分～

【場 所】 ふれあいセンター 視聴覚室

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## ③活動助成金の交付

【金 額】 6地区 合計 561,100円

## ④ふれあい会食会 ※2地区(小牧中部・味岡)実施

【目 的】 地域の高齢者を対象として、アトラクション・食事などを楽しみながら参加者同士やボランティアとの交流を深める。

【助成金】 183,730円(2地区合計)

【対象者数】 184名(2地区合計)

## (6)ボランティア活動保険の加入促進

3月末現在

【内 容】 加入事務手続き・保険請求手続き、加入料補助、天災プラン(災害)加入手続き

【件 数】 加入人数 3,762名(うち天災プラン15名)、行事保険加入件数 22件

【金 額】 加入補助額 1,060,800円

【備 考】 活動保険請求手続き件 3件 (手続き中含む)

保険加入者計算表、重複加入者確認表を活用し事務処理負担を軽減。

## (7)ボランティア活動助成金の交付

【目 的】 ボランティア活動の振興を図るために、自主的かつ継続的に行うボランティア活動をより促進し、活発化させ、活動の幅を広げることを目的としています。

【件 数】 66グループ

【金 額】 1,423,996円(合計)

【内 容】 申請案内等事務手続き・決定通知・請求処理・入金処理

- ・ 予算枠を有効活用するための計算式を開発し、追加助成を実現。
- ・ 請求書様式の簡略化。

### 【助成団体】

A	A1 あい心の窓 A3 傾聴ボランティア「こまき」 A7 ボランティア「まどか」	A2 カトレヤグループ A5 根っ子の会 A8 ボランティアあかり
B	B2 ガイドヘルプ友の会 B4 ここばりこまき B6 サンデーボランティア B8 手話サークル「ふたば」 B9 精神保健福祉ボランティア エーデルワイス B10 点訳グループ「たんぽぽ」 B13 要約筆記 こまき	B3 声のボランティア「かっこう」 B5 小牧市おもちゃ図書館 きらら B7 手話サークル「おてだま」 B11 パパママサポート あおぞら BS1 finger five
C	C1 味噌地域リハビリたんぽぽの会 C5 小牧市食生活改善協議会 C8 篠岡リハビリ教室「ももの会」	C3 オリーブ C7 こまき歯っ磨るテイスターズ
D	D1 アラック！（アマチュア無線災害ボランティア小牧） D2 小牧災害ボランティアネットの会 D4 米野地区防犯パトロール	D3 小牧防災リーダー会 D5 多気交友会
E	E1 岩崎わかばコーラス E4 芸能シアターつげの会 E7 小牧歌笑会 E11 しあわせの会 E16 藤唱会 E19 ボランティア一輪八重の会 E23 和太鼓 鼓珀 ES2 ワヒネフラダンスグループ	E3 芸能友輪会 E6 小牧愛唱会 E9 小牧マジッククラブ E13 東雲流吟詠会 E18 フォスター合唱団 E22 和祝太鼓 E24 和楽桜会 ES3 フォルクローレクラブ
F	F4 おはなしの森 F8 コアサポーター会 F9 高齢者疑似体験ボランティアグループ F14 小牧歴史ガイドボランティア たぶの木会 F20 Pas à Pas パザパ～多国籍青年ネットワーク～ F22 PiN Komaki ブラジリアンファミリー支援の会 F23 ブラジリアンコミュニティ通訳者サポートの会 F24 誉高校インターアクトクラブ F27 三ツ山子どもすもう F29 ラテン人ママの台所	F5 おりづる F11 コトトモ F25 誉高校地域ボランティア部 F28 もこもこ
G	G1 味噌地区シルバー奉仕団 岩崎原友愛会 G2 一寸奉仕こまき G8 小牧西部地区婦人奉仕団 G10 さわやかタウン会・遊園の部 G13 桃1 おもいやり自動車	G6 小牧おもちゃ病院トイトイ G9 米野さわやか会 G11 篠岡地区婦人奉仕団

### (8) ボランティアルームの常時開設

【内 容】 部屋・備品の管理、棚の貸出  
ボランティア用パソコンの設置 利用件数 16 件 利用延べ時間 226 分

## (9) 婦人・ジュニア・シルバー奉仕団の活動推進

### 婦人奉仕団

- 【目的】 住みよい地域づくりを推進していくうえでその根底にあるべき「やさしさ」や思いやりの心」が大切です。  
この実現のため、地域内の婦人が組織的、自主的且つ永続的にボランティア活動を展開していくことで「心豊かな住みよい地域社会」を創造することを目的とする。

#### ① 婦人奉仕団役員会

回	日時	場所	出席者	内容
第1回	6月7日(金) 13時30分～	ふれあいセンター 会議室2	6名	今年度の活動(花植、ふれあい会食会等)について
第2回	9月13日(金) 13時30分～	ふれあいセンター 会議室2	7名	市民まつり協力、福祉展について
第3回	令和2年 2月7日(金) 13時30分～	ふれあいセンター 会議室2	6名	次年度の活動(内容・会議日程)について、情報交換

#### ② ふれあい会食会 ※2地区(小牧西部・篠岡)実施

- 【目的】 地域の高齢者を対象として、アトラクション・食事などを楽しみながら参加者同士やボランティアとの交流を深める
- 【助成金】 165,000円(2地区合計)
- 【対象者数】 165名(2地区合計)

### ジュニア奉仕団

- 【目的】 私たちは、市民憲章を生活信条として、社会の一員としての自覚をもち、明るい地域社会づくりをめざします。

#### ① ジュニア奉仕団世話人会長会

回	日時	場所	出席者	内容
第1回	4月3日(水) 14時～	ふれあいセンター 会議室2	9名	総会について、勉強会の内容について
第2回	8月28日(水) 14時～	ふれあいセンター 会議室2	8名	市民まつり割り振りについて

#### ② 世話人会・担当教諭合同会議

回	日時	場所	出席者	内容
第1回	4月19日(金) 15時30分～	ふれあいセンター 大会議室	33名	総会の最終確認(講師、各役割など)
第2回	令和2年 2月21日(金) 15時30分～	ふれあいセンター 大会議室	28名	R1活動のまとめ、次年度手続きの説明、次年度総会について等



③ジュニア奉仕団・世話人会合同役員会

日時	場所	出席者	内容
4月13日(土) 10時～	ふれあいセンター 大会議室	80名	総会の役割分担決定、勉強会実施について

④ジュニア奉仕団総会

日時	場所	出席者	内容
5月11日(土) 9時30分～12時	小牧市市民会館 大ホール	721名	H31計画発表、講演 (講師：中部盲導犬協会)

⑤ジュニア奉仕団勉強会(交流会)

【目的】 団員がお互いに協力して人々の役に立つ奉仕活動を計画・実行し、明るい地域づくりをめざす。すでに行っている活動以外にも、様々なことを見聞できるように勉強会を開催しこれからの活動に生かしていく。

【開催日時】 8月3日(土) 10時～

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

【参加者数】 81名

【内容】 ふれあいセンターの施設案内、小牧市社協の業務について

⑥ジュニア奉仕団活動

【内容】 街頭募金活動、清掃活動、施設訪問、愛のレター書き、児童館活動  
各種行事の手伝いなど

【件数】 のべ 284件(9校合計)

【人数】 のべ 7,253名(9校合計)

**シルバー奉仕団**

【目的】 住みよい地域づくりを推進していくうえでその根底にあるべき「やさしさ」や思いやりの心」が大切です。

この実現のため、地域内の高年者が組織的、自主的且つ永続的にボランティア活動を展開していくことで「心豊かな住みよい地域社会」を創造することを目的とする。

○活動の継続を目指した支援

## (10)ジュニア奉仕団卒団生の活動(ココボラ)

- 【目的】ボランティア活動に対して気持ちのある高校生・大学生が自発的に継続性をもってボランティア活動に参加できる土壌作り。
- 【内容】ココボラの知名度を上げるため、地域や行政からの依頼に対して幅広く協力を行った。
- 【人数】高校生 35名 大学生・一般 7名
- 【活動件数】57件、延べ 263名

	活動内容	件数	人数
1	ココボラ便り	2	8
2	定例会	5	56
3	施設活動	8	29
4	福祉展	15	78
5	寺子屋	2	6
6	駒来塾	14	14
7	ジュニア奉仕団	6	20
8	募金活動	1	2
9	避難者交流会	1	5
10	新入生歓迎会	1	28
11	スポレク	1	6
12	その他 依頼活動、単発の活動	5	15
	合計 (重複含む)	61	267

### 【その他 内訳】

- 「えがおの絆」：不登校児を対象とした遊びの場づくり
- 休みの国 EXPO：障がい団体による啓発イベント
- 災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練

## (11)災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練

- 【目的】災害時に、迅速かつ的確に災害ボランティア支援センターが開設・運営・閉鎖できる体制づくりを図るとともに、災害対応活動の情報交換及び災害ボランティア支援訓練を実施することにより、緊急時の対応に備える。
- 【開催日時】令和2年1月26日(日)8時30分から12時
- 【場所】ふれあいセンター 大会議室
- 【参加者数】83名
- 【内容】テーマ「みんなで、つながろう！ 防災・減災・支え合いの輪」
- 第1部 災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練
- ・小牧市で起こりうる災害の被害想定 市危機管理課
  - (1)災害 VC の概略説明、伝達式
  - (2)A 災害 V 支援センターの運営訓練&意見交換会
  - B 災害 V の活動訓練&意見交換会
  - ①テント・仮設トイレ設営 ②資機材の確認
  - ③災害時の通信 ④ブルーシート講習
- 第2部 経験から学ぶ支え合いの輪
- 「今年度の被災地ボランティア活動の報告」
- 講師：NPO 愛・知・人 代表 赤池 博美 氏

## (12)市総合防災訓練参加

市総合防災訓練において、災害ボランティア支援センターを設置・運営訓練を行う。

【開催日時】 8月25日(日)8時～12時

【場 所】 北里中学校

【内 容】 災害ボランティア支援センターの知名度大調査

【対 象】 小牧市立北里中学校区民

## (13)東日本大震災県外避難者支援

ふれあいひろば小牧（避難者交流会）開催協力、避難世帯の戸別訪問、個別支援対応  
愛知県被災者支援センター、市危機管理課、県外避難者、市民活動団体、ふれあいひろ  
ば小牧実行委員会等と協力し実施

### ①「ふれあいひろば小牧」の開催協力

【開催日時】 第20回：7月7日(日) 10時～15時

第21回：3月1日(日) 10時～15時

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月10日(日)に変更

【場 所】 ふれあいセンター 会議室3、視聴覚室、料理実習室、プレイルーム

【参加者数】 第20回：6世帯8名（大人6名、子ども2名）支援者20名 合計28名

【内 容】 避難の理由に関係なく誰でも、自由に立ち寄ることができ、お茶を飲んだり、お話をしたりしながらゆったりとした時間を過ごす。  
参加者、協力者との交流を通して人と人とのつながりや信頼関係を築き、生活上の不安や気持ちをはき出せる場づくり。

【準 備】 打ち合わせ4回、前日準備等(買い物等)2回

【主催協力】 ふれあいひろば小牧実行委員会（小牧市への避難者(岩手県、福島県)、西部地区婦人奉仕団、マーブルの会、ココボラ、コープあいち、小牧市社会福祉協議会)、愛知県被災者支援センター、個人ボランティア

### ②県外避難者宅の個別訪問

○広域避難者個別支援の実施に係る事前打ち合わせ

【日 時】 10月10日(木)11時～12時

【場 所】 小牧市役所本庁舎6階

【内 容】 小牧市で避難登録している方々の近況確認（住所変更、家族構成、これまでの引き継ぎ事項など）、12世帯30名  
個別支援が必要な世帯 2世帯  
それぞれが置かれている状況を整理し、すでにある社会資源や利用しているサービスについて情報交換、今後必要な資源、サービス、対応について検討

【出席者】 愛知県防災局、愛知県被災者支援センター、市危機管理課、市保健センター、社協

○個別訪問協力

【日 時】 12月3日(月)10時～12時 1件（1世帯）

【場 所】 小牧市役所本庁舎2階202

【内 容】 生活状況の聞き取り訪問（避難者、愛知県被災者支援センター、市危機管理課、市保健センター、社協）

## (14)東尾張ブロックボランティア集会

【目的】 障がい者や子ども、誰でも参加できるスポーツやレクリエーションを指す言葉として「アダプテッドスポーツ」という言葉があります。2020年には「多様性と調和」の考え方のもとに東京パラリンピックが開催されます。地域共生社会の一環として、障がい者スポーツ、スポーツボランティアのニーズは今後も高まるものと考えられます。

そこで、東尾張ブロック（瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、豊明市、東郷町、豊山町の9市2町）のボランティア関係者が一堂に会し、交流や親睦を通じて、情報交換を行うことにより、各市町でのボランティア活動が地域住民に正しく周知されるとともに、多様性を認め合える地域社会の実現を目指して集会を開催します。

【開催日時】 6月29日（土）午前10時～午後3時

【場所】 東郷町民会館、東郷町総合体育館

【内容】 「だれでも、楽しく、ボランティア」

【主催】 東尾張ブロックボランティア集会連絡会  
東尾張ブロック9市2町社会福祉協議会

時 間	内 容
10:00～10:20	オープニング 協力 和合ヶ丘祭り太鼓 以鼓舞
10:20～10:30	開会式準備
10:30～10:40	開会式 ・主催者あいさつ ・開催地社協あいさつ ・来賓祝辞 ・来賓紹介
10:40～10:50	休憩・市町紹介コーナー見学
10:50～11:50	講演会 東郷町施設サービス株式会社 近藤 浩晃 氏 視覚障がい者交流グループゆうゆう 野々山 美恵子 氏、野々山 茂 氏
11:50～12:00	移動
12:00～12:50	昼食
12:50～13:10	移動
13:10～14:20	交流会
14:20～14:40	移動・市町紹介コーナー見学
14:40～14:50	エンディングアトラクション 東尾張ブロックボランティア集会ムービー
14:50～15:00	閉会式 時期開催地あいさつ

## (15)他市町村ボランティア連絡協議会との交流会

○今年度は実施せず。

## 2. ボランティアの心を育て実践を促す活動

### (1) ボランティア養成講座の開催

#### ① 手話ボランティア養成講座(昼の部)

【目的】 聴覚障がいによる日常生活の状況や障がい者としての気持ちを理解し、聴覚障がい者のコミュニケーションの手段である手話のボランティアを養成します。

【開催日時】 5月15日(水)～7月31日(水) 9時30分～11時30分(全12回)

【場所】 ふれあいセンター 視聴覚室他

【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方

【参加者数】 4名

【講師】 小牧市聴覚障害者福祉協会

協力ボランティア：手話サークル「おてだま」

【備考】 加入者数3名

#### ② 手話ボランティア養成講座(夜の部)

【目的】 聴覚障がいによる日常生活の状況や障がい者としての気持ちを理解し、聴覚障がい者のコミュニケーションの手段である手話のボランティアを養成します。

【開催日時】 9月12日(木)～11月28日(木)18時30分～20時30分(全12回)

【場所】 ふれあいセンター 視聴覚室他

【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方

【参加者数】 11名

【講師】 講師：小牧市聴覚障害者福祉協会

協力ボランティア：手話サークル「ふたば」

【備考】 加入者数6名

#### ③ 音訳(朗読) ボランティア養成講座

【目的】 視覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者としての気持ちを理解し、視覚障がい者に図書や広報を音訳(朗読)するボランティアを養成します。

【開催日時】 5月8日(水)～7月10日(水) 9時30分～11時30分(全10回)

【場所】 ふれあいセンター 会議室2

【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方

【参加者数】 7名

【講師】 講師：芳川 正子氏

障がい者講師：講話 大澤 鉄夫

協力ボランティア：声のボランティア「かっこう」

【備考】 加入者数5名

#### ④ 点訳ボランティア養成講座

【目的】 視覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者としての気持ちを理解し、視覚障がい者に図書や広報などを点字に訳する(点訳)ボランティアを養成します。

【開催日時】 5月10日(金)～7月12日(金) 9時30分～11時30分(全10回)

【場所】 ふれあいセンター 会議室2

【対象】 講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方

※受講希望者が開講の規定人数(複数名)に達していなかったため、開講中止。

⇒自主開講として開催 1名参加

⑤要約筆記ボランティア養成講座

- 【目的】聴覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者としての気持ちを理解し、障がい者のコミュニケーション手段である要約筆記技術について学習します。
- 【開催日時】5月11日(土)～6月15日(土) 10時～12時(全6回)
- 【場所】ふれあいセンター 視聴覚室他
- 【対象】講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方
- 【参加者数】6名
- 【講師】要約筆記 こまき
- 【備考】加入なし

⑥お話し相手(傾聴)ボランティア養成講座

- 【目的】「お話し相手」として必要とされる「耳を傾けて聴き」「寄り添って受け止め」「共に感じる」ということ等について、その意味と意義、基本的姿勢について学習します。
- 【開催日時】9月3日・10日(火)9時30分～正午  
9月17日(火)9時30分～11時30分
- 【参加者数】16名
- 【場所】小牧市ふれあいセンター 視聴覚室
- 【対象】初めて受講し、講座修了後のボランティア活動に関心がある方
- 【講師】小牧市社会福祉協議会 小牧地域包括支援センターふれあい  
看護師(産業カウンセラー) 佐々木 恵美子  
協力ボランティア：傾聴ボランティアこまき
- 【備考】加入者数11名

⑦災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 【目的】大規模な災害が発生した場合に、災害時の混乱した状況の中、多くのボランティアの受入れやそれぞれの活動場所への派遣調整を迅速かつきめ細やかに展開するための体制と、災害に備えた日ごろのネットワークづくりの重要性から、ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。
- 【開催日時】令和2年1月18日(土)午前9時30分～16時30分  
19日(日)午前8時30分～13時30分  
25日(土)午前10時～16時  
26日(日)午前8時40分～12時
- 【参加者数】16名
- 【場所】小牧市ふれあいセンター 視聴覚室
- 【対象】初めて受講し、講座修了後にボランティア活動に関心がある方
- 【講師】小牧災害ボランティアネットの会
- 【備考】加入者数4名

⑧こころのサポートボランティア（精神保健福祉ボランティア）養成講座

【目的】精神障がいについて理解を深めるとともに、精神障がい者の地域での生活を支援する人材の育成を図ることを目的とする。

【開催日時】令和2年1月29日(水)14時～16時、2月8日(土)14時～16時  
(実習)2月中、3月5日(木)14時～16時

【参加者数】8名

【場所】小牧市ふれあいセンター 視聴覚室、会議室3

【対象】講座修了後、ボランティアとして活動したい方。

【講師】ともこころのクリニック 院長 高木 友徳 氏

【備考】※実習・第4回目を新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ延期

## (2)養成講座の開講支援

【目的】ボランティアグループが、ボランティアの育成・ボランティア活動への参加のきっかけづくりを目的に、自主的に行う取り組みについて協力する。

【内容】広報活動や経費の一部等を支援

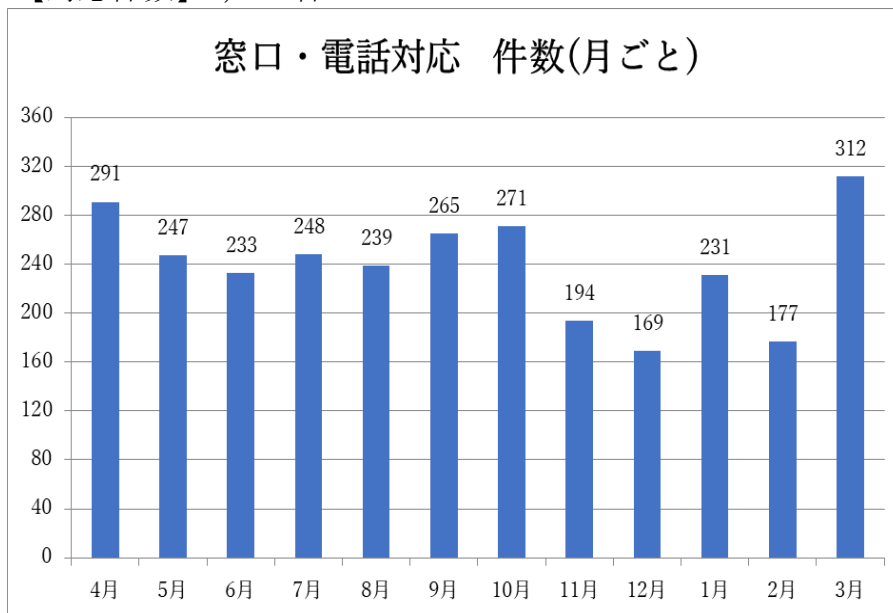
【実施】声のボランティア「かっこう」【体験】4月17日 2名参加 2名加入  
点訳グループ「たんぽぽ」 【体験】4月19日 1名参加

## (3)ボランティア相談、情報提供、各種機材の貸し出し等

①ボランティア活動に関する相談（窓口、電話、メール、その他）

グループ運営に関する相談、新規立ち上げ相談、各活動に関する情報提供等  
・窓口対応記録集計表を作成し、対応内容を記録、職員間で共有している。

【対応件数】3,219件



②ボランティア情報提供

- 登録グループ情報、市民活動情報、活動メニュー、その他活動に関する情報等
- 助成金情報
- ボランティア活動についての現状の話、こころ構え等

③各種機材の貸し出し等

ボランティア活動に必要な各種資機材の貸出

④ボランティア派遣依頼 3月末現在

【件数】52件

**(4) 土曜相談窓口の開設**

【対応内容】会館予約、書類提出、活動相談

日にち	4月13日	6月8日	8月10日	10月12日	12月14日	2月8日	3月14日
件数	5	8	2	0	8	0	3

※10月12日は、台風19号の接近に伴い、15時まで

**(5) ボランティア情報コーナー設置**

【内容】ボランティアに関する書籍やDVD、各種チラシ、ポスター、グループ情報ファイル、福島県の新聞2紙（週2回更新）、コルクボードでのボランティア情報の発信

**(6) ボランティア登録**

ボランティアグループ登録、個人ボランティア登録

分野	A	B	C	D	E	F	G	Jr奉	個人V	計
G数	8	14	10	6	27	29	14	9		117
人数	225	312	193	222	402	898	747	850	92	3,941
男性	21	78	14	157	129	284	240			923
女性	204	234	179	65	272	614	507			2,075

- ・団体数集計表と差込み用データの自動生成計算表を作成し登録グループ数集計に活用。
- ・登録実人数、延べ人数等が算出できる計算表を作成し人数集計に活用。



### 3. 福祉教育活動の推進

#### (1)福祉実践教室の開催

【目的】 児童・生徒が障がい者や高齢者等との交流を通して、地域の福祉課題や生活課題に気づき日常的な実践活動へと広げ、「豊かな人間性」「共に生きる力」を育むことをねらいとする。

各小中学校へ出向き、ボランティアからの協力を得ながら開催。

【内容】 ・新たに福祉実践教室に認知症サポーター講座を導入した。

・福祉実践教室担当教諭説明会を開催した。

【対象】 市内小中学校

【協力者】 高齢者疑似体験＝高齢者疑似体験ボランティアグループ

手話＝手話サークル「おてだま」

点訳＝点訳グループ「たんぼぼ」

要約筆記＝要約筆記こまき

車いす・アイマスク＝ガイドヘルプ友の会

認知症講座＝市内地域包括支援センター

【参加生徒】 小学校 15校 高校 2校 1749名

【ボランティア】 275名

月日	学校名	車いす	手話	要約筆記	点訳	アイマスク	高齢者疑似体験	認知症講座	生徒数	ボランティア
6/12	光ヶ丘						30		30	9
6/19	村中	24	26				24		74	11
9/30	小牧原	24	25		25		24	26	124	22
10/4	三ツ渕		15		16		16		47	10
10/7	米野	20	30		30	30	20	30	160	30
10/8	味岡	30	30	30	30		20		140	19
10/15	小牧	20	25	25	25		20	25	140	19
10/25	一色		24		23	24	24		95	16
10/28	桃ヶ丘	20	20		20		21		81	15
10/30	小牧南	20	28	27	27	28	28	27	185	26
11/7	北里	30	33				30		93	14
11/11	大城	24					24		48	10
11/12	小牧南高		24	24	24	24	24	24	144	19
11/13	篠岡				21	21	20		62	12
11/26	小牧南高		24	24	24	24	24	24	144	19
12/4	本庄	26		25	25		25		101	19
12/11	誉高校						19		19	5
12/13	小木					22	21		43	9
2/5	誉高校					19			19	4
	合計	238	304	155	290	192	414	156	1,749	275

## **(2)「総合的な学習の時間」への協力** (施設見学・調べ学習等)

- 【目的】 学校独自の福祉学習の取り組みに関する相談や講師となるボランティア派遣の調整をします。
- 【内容】 各小中学校で、各テーマに基づき開催。ふれあいセンターの施設紹介、見学
- 【開催日時】 5月8日(水) 村中小学校 74人 ふれあいセンター施設見学

## **(3)中学生及び高校生福祉体験学習事業** (7月～8月)

- 【目的】 社会福祉に対する理解と参加を促進するため、社会福祉施設等でボランティア活動の体験学習を実施することにより、青少年の健全育成と活力ある福祉社会の醸成に寄与するものとする。
- 【開催時期】 7月～8月(夏休み期間中)
- 【参加対象】 市内の中学生及び高校生 105名
- 【内容】 担当教員説明会 5月8日(水)15時30分～  
事前説明会 6月22日(土)13時30分～  
2日間のボランティア体験実習の実施  
体験文集の発行(市福祉大会での発表)
- 【協力者】 市内27施設・ボランティア 5団体  
愛厚ホーム小牧苑、ゆうあい、岩崎あいの郷、オーネスト桃花林オーネスト小牧台、ふれあいデイサービスセンター、岩崎デイサービスセンター、豊寿苑、こまきの森、デイサービスひかり、ハートランド小牧の杜、すずかけ共同作業所、いわざき授産所、本庄授産所、サンフレンド、銀河、アザレアフォルテ、あさひ学園、竜陽園、結いの郷小牧、小牧白寿苑、花梨ふじしま、花梨まはら、気ごころの家、幸の郷、小牧ワイナリー、サンビレッジ、ボランティア「まどか」、ふれあいサロン華陽会、たまり場じいばあ、たまり場 城山、小牧原南サロン いこいの家
- 【備考】 生徒からの希望施設・参加日をマクロを使って自動割り振り調整。

#### 4. 「福祉の心」「ボランティアの心」の普及・啓発活動

##### (1)第 42 回福祉展の開催

【目的】小牧市における「福祉活動」「ボランティア活動」の実情を広く市民の皆様  
に紹介し、福祉についての関心と理解を深めていただくとともに、人と人  
のふれあいの輪を広げる機会とする。

【開催日時】10月19日(土)・20日(日)10時～16時

【場所】小牧市公民館

【内容】ボランティア・福祉団体による展示コーナー、ボランティアグループによ  
る体験コーナー、福祉施設によるバザー、ふれあいひろばステージほか

##### <展示><バザー>

こまき歯っ磨るテイスターズ
ココボラ
小牧市手をつなぐ育成会
小牧市肢体不自由児者父母の会
篠岡地区婦人奉仕団
ボランティア「まどか」
ここばりこまき
尾張北部権利擁護支援センター
ふれあい・いきいきサロン
小牧市内保健福祉施設団体連絡会 事業所紹介コーナー
小牧市社協登録ボランティアグループ紹介

いわざき授産所
本庄授産所
19日(土)すずかけ共同作業所
ハートランド小牧の杜
あいち清光会 (サンフレンド/銀河/サンビレッジ)
20日(日)アザレアフォルテ/本庄プラザ

##### <体験>

19日(土)手話サークル「おてだま」	手話体験
20日(日)手話サークル「ふたば」	
20日(日)パパママサポート あおぞら	発達障がい体験
20日(日)おもちゃ図書館きらら	おもちゃ作り
要約筆記 こまき	要約筆記体験
ガイドヘルプ友の会	アイマスク体験
19日(土)高齢者疑似体験ボランティアグループ	高齢者疑似体験
19日(土)声のボランティア「かつこう」	試聴・朗読体験
20日(日)点訳グループ「たんぽぽ」	点訳体験
小牧防災リーダー会	家具固定体験
19日(土)おりづる	おりがみ体験

<ふれあいひろば関係>

声のボランティア「かっこう」	司会
要約筆記 こまき	要約筆記
19日(土) 手話サークル「おてだま」	手話通訳
20日(日) 手話サークル「ふたば」	

<その他>

小牧市共同募金委員会	赤い羽根共同募金
ガイドヘルプ友の会	来場者の福祉展会場内介助
ココボラ	クイズ&スタンプラリー

<ステージプログラム>

1日目(10/19土)

10:00	和太鼓演奏	米野太鼓
10:30	歌謡ショー	芸能 友輪会
11:00	カッコイイ鳴子踊りです!	誉高校地域ボランティア部&本庄小わくわく土曜クラブ
13:00	ペープサート「十二支のはなし」	おはなしの森
13:30	防災クイズ	小牧防災リーダー会
14:00	ハーモニカ、歌と日本舞踊	和楽桜会
14:30	手話コーラス 「幸せなら手をたたこう♪♪」	手話サークル「おてだま」

2日目(10/20日)

10:00	フォスターの歌、合唱と演奏	フォスター合唱団
10:30	手話でQuizろう!!	手話サークル「ふたば」
11:00	琉球舞踊、フラダンス、カラオケ	ボランティア柿の木
14:15	バルーンアートを皆で楽しく作りましょう	つみきの会
14:45	シオン倶楽部の描く福祉	シオン倶楽部

【準備日程】福祉展運営委員会2回(運営委員25名)

	日時	人数	内容
第1回	8月7日(水) 13時30分～ 15時	20名	第42回福祉展開催要項について 今後の日程・準備について 開催内容について 福祉スタンプラリー・ふれあいひろばステージ・会場のレイアウトについて 部会別打ち合わせ レイアウト全体確認
第2回	11月20日(水) 13時30分～ 14時40分		協力者アンケート結果について 次年度の開催に向けて

## (2) ボランティア活動啓発用パネルを常時展示・貸出

【内 容】登録グループを紹介するため、活動紹介パネルを作成・貸出  
持ち運び用縮小版を作成

【貸 出】3件 西部地区ボランティアのつどい、東尾張ブロックボランティア集会  
篠岡地区ボランティアのつどい

## (3) ボランティアグループ一覧表の作成・配布

【内 容】概要版、詳細版の2種類を作成し配布

【件 数】配布枚数 1,200部

【配 布 先】市民、市役所本庁舎情報コーナー、小牧市市民活動センター、介護展、福祉展、民生委員、市内保健福祉施設団体連絡会、図書館、市生涯学習課窓口、こまなびサロン窓口、地区ボランティアのつどい、ボランティア養成講座、シオン倶楽部 ほか

## (4) インターネットでのボランティア情報の提供

①小牧市社会福祉協議会ホームページ【<http://www.k-net.or.jp/~shakyo/>】  
ボランティアセンターホームページ（民間無料ホームページサービスを活用）  
・登録グループ一覧表、事業内容の紹介【<https://komakivc.jimdofree.com>】

②ブログ更新件数【<http://komakishishakyo.blog.fc2.com/>】

○ボランティアセンター更新件数 13件

○グループからの掲載依頼

【件 数】3件 北里ハーモニカクラブ、ウイフラススタジオ ボランティアグループ「ワヒネ」、点訳グループ「たんぽぽ」、

小牧市社協 ブログ

## (5) 啓発活動支援

①社協だよりでのボランティアグループ紹介

「ココボラ便り」でのボランティアグループ紹介（ボランティア活動の取材）

- ・ボランティアグループからの掲載依頼に応じた情報発信の協力、グループ紹介。
- ・ココボラだよりの作成

読者にボランティア活動の楽しさを伝え、ボランティアへの関心を高めてもらう。  
小牧市で「きらきら」輝いているボランティアグループを取材し、読者に親しみを持って読んでもらえる記事をつくる。

【件 数】3件 おもちゃ病院トイトイ、ジュニア奉仕団世話人会、ココボラ

②グループ情報ファイルの設置

【内 容】全グループ分の活動情報ファイルを作成、一般向けに設置

③掲載協力団体の把握

企業、マスコミ、新聞店、その他情報発信媒体を持つ団体などに対し、登録グループが自主的に情報発信できる様にするための協力体制の整備

## 5. 人にやさしいまちづくりの実現

### 障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい

【目的】市内に在住・在勤の障がい者(児)が一堂に会し、スポーツとレクリエーションを通じて相互の親睦を図るとともに、広く市民に対し障がい者福祉への理解と関心を深め、障がい者(児)の社会参加に寄与する機会とします。

【開催日時】11月3日(日) 10時～14時40分

【場所】パークアリーナ小牧 メインアリーナ

【参加者数】592名(参加者233名、職員・保護者77名、ボランティア187名)

【内容】テーマ「手をつなごう こまきの仲間 未来をめざして」  
参加者が楽しく参加できる競技・レクリエーション(大玉ころがし、ボッチャ体験、パン食い競争、カローリング、魚釣りゲーム、アキュラシー、ボーリング、ラダーゲッター、みんなで踊ろう)

【参加対象】市内在住・在勤の障がい者(児)とその家族

【協力者】<運営委員・実行委員>

小牧市身体障害者福祉協会、小牧市肢体不自由児者父母の会、小牧市手をつなぐ育成会、いわざき授産所、すずかけ共同作業所、アザレアフォルテ・本庄プラザ、小牧市ふれあいの家、本庄授産所ハートランド小牧の杜、サンフレンド・銀河・サンビレッジ、小牧市ボランティア連絡会

<当日協力(競技、参加者介助など)>20団体、個人ボランティア(11名)  
サンデーボランティア、カトレヤグループ、篠岡リハビリ教室「ものの会」、誉高等学校、三菱重工グループ労連名誘地区本部、ガイドヘルプ友の会、岩崎中 Jr 奉仕団、手話サークルふたば、要約筆記こまき、バリアフリー和太鼓サークル鼓っこ、ナナチャンホンポ、株式会社 東海理化、大和ハウス工業株式会社、ココボラ、小牧南スポーツクラブ、小牧ディスククラブ、小牧市スポーツ推進委員連絡協議会、一色小学校金管部、水仙会

【準備日程】運営委員会・実行委員会を開催し、実施内容の検討

①運営委員会 2回

	日時	内容
第1回	6月20日(木) 13時30分～ 14時	自己紹介、正・副委員長の選出、開催要項と日程について、運営と役割分担について、実施内容について、その他(自立支援協議会に所属する事業所への声かけについて、予算額の変更について、ボッチャについて、参加者の減少による運営への協力について)
第2回	10月23日(水) 13時30分～ 14時20分	準備状況、プログラム、参加者状況、実行委員の役割について、競技内容等について、注意事項について、今後の準備日程について、次年度の会場予約状況(開催日)について、その他(施設紹介コーナーについて、写真記録について)

②実行委員会 7回

	日時	内容
第1回	7月9日(火) 18時～19時	自己紹介、正・副委員長の選出、第43回開催と日程および運営について、プログラムについて
第2回	7月30日(火) 18時～ 19時10分	前回の振り返り、午前競技について、午後レクについて、施設紹介コーナーの設置について、開閉会式について
第3回	8月20日(火) 18時～19時	前回の振り返り、会場見学、午前競技について、午後レクについて、控え室の確認、ゼッケンの枚数確認
第4回	9月3日(火) 18時～ 18時50分	前回の振り返り、ボッチャについて、放送原稿の確認
第5回	9月24日(火) 18時～ 19時20分	前回の振り返り、ボッチャについて、カローリングについて
第6回	10月8日(火) 18時～19時20分	参加状況について、実行委員の参加状況確認、競技・レクについて
第7回	10月29日(火) 18時～ 19時35分	報告事項、確認事項、検討事項

③リハーサル・反省会

会議名	日時	内容
会場準備・リハーサル	11月2日(土) 13時30分～18時	会場準備、リハーサル
運営委員・実行委員合同反省会	12月3日(火) 18時～	スポレクのまとめ、アンケート結果報告

## 6. その他登録ボランティアに関する事業

### (1)社会福祉協議会事業

- ① 社会福祉協議会協力会費への協力
- ② 小牧市地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する事業
- ③ 福祉映画を鑑賞する会 毎月第2日曜日
- ④ ふれあいいいきサロン（高齢者、障がい者、子育て）
- ⑤ 小牧市社会福祉大会
- ⑥ ひとり暮らし高齢者交流会(11月)
- ⑦ 地域包括支援センター（認知症サポーター講座、徘徊模擬搜索訓練、地域支えあい会議 他）
- ⑧ 市バス利用調整 10件

### (2)共同募金事業

- ① 募金活動（赤い羽根共同募金、歳末助け合い運動） 他

### (3)善意銀行事業

- ① 愛善連ボランティア交流会のつどい(豊橋市)  
事例発表 おりづる
- ② 善意のつどい(3月23日)  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ③ 特別支援学級生合同クリスマス会(12月7日) 他



#### (4)各種表彰

① ボランティア活動功労者表彰(県知事表彰) 団体表彰  
味岡地域リハビリたんぽぽの会

② 愛知県社会福祉協議会会長表彰、感謝状  
表彰 誉高校インターアクトクラブ  
感謝状 森民謡会

③ 小牧市社会福祉大会 社会福祉協議会会長表彰 17名、感謝状 4名  
会長賞

	氏名	ボランティア団体		氏名	ボランティア団体
1	熊谷 きよ美	ボランティアあかり	11	丹羽 健二	芸能 友輪会
2	岡野 智美	ガイドヘルプ友の会	12	鷺見 勝之	小牧歌笑会
3	野村 よし子	声のボランティア「かっこう」	13	麻生 文子	おはなしの森
4	古澤 夏恵	味岡地域リハビリたんぽぽの会	14	水谷 益恵	おりづる
5	三島 久美子	小牧市食生活改善協議会	15	尾上 英子	高齢者疑似体験ボランティアグループ
6	吉田 千代子	小牧市赤十字奉仕団	16	志村 秀子	小牧市更生保護女性会
7	小川 金治	アラッ!ク	17	小栗 佳子	小牧西部地区婦人奉仕団
8	鳥居 由香里	小牧災害ボランティアネットの会			
9	古澤 稔	多気交友会			
10	鈴木 美智子	中部音友会			

#### 感謝状

	氏名	ボランティア団体
1	平林 五十鈴	おじゃめの会こまき
2	坂本 文子	篠岡リハビリ教室「ももの会」
3	宮田 真弓	岩崎わかばコーラス
4	伊熊 啓人	小牧防災リーダー会

#### (5)研修会・講師派遣・参加協力依頼関連

①名城大学 人間学部人間学科

【開催日時】 12月10日(火)

【場 所】 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス

【内 容】 講義 ボランティア入門

小牧市社協の取り組みについて紹介

聴講生約 170名

## (6)その他

### ① ボランティアセンター職員体制

【職員人数】 正規 1 名、嘱託 1 名、臨時 2 名 計 4 名

【対応件数】（職員 1 人当たり）約 89.4 件/月 約 4.3 件/日

### ② 委員の委嘱

小牧市こども・子育て支援会議	所長
小牧市献血推進協力会	所長
児童の放課後のあり方に関する検討部会	所長
小牧市民まつりプロジェクト委員会	所長
小牧市民まつり実行委員会「市民会館部会」	所長
小牧市地域協議会推進市民会議	所長
こまき市民交流テラス連絡会議	所長・武内
市民活動交流会 実行委員会	武内
こまき市民活動祭 実行委員会	武内

令和 2 年 3 月 31 日 作成